

機械器具 46 医療用切断器
管理医療機器 単回使用デジタール用刃 35134000

フェザー探皮刀

再使用禁止

【警告】

非常に鋭利な刃物であるため、取り扱いに注意すること。

【禁忌・禁止】

- 本品に感作又はアレルギーを示す患者には使用しないこと。
- 再使用禁止。

【形状、構造及び原理等】

形状:



組成:刃部/ステンレス鋼
柄部/スチール

原理:本品は、火傷(やけど)等の採皮・植皮に用いる切刃である。

【使用目的、効能又は効果】

皮膚移植組織の採取に用いる刃をいう。本品は単回使用である。

【品目仕様】

- 刃: 滑らかな仕上げ面をもち、使用上有害な腐食、バリがなく、又、刃先は精密に形成され、先端部にはキズ及びフェザーエッジ(まくれ刃)の無いことを確認した製品です。
- 刃の材料: 均一で微細結晶粒組織をもつ、炭素含有率0.2%以上のクロムステンレス鋼から加工し、ピッカース硬さで500以上に焼き入れされた、材料を使用しています。
- 安全性: JIS T0993-1に従い生物学的安全性を確認した製品です。

【操作方法、使用方法等】

包装を開封して取り出し、そのまま使用して下さい。
使用方法の詳細は右記参照。
※鋭利な刃物です、刃先には十分ご注意ください。

【使用上の注意】

- 本品は、【使用目的、効能又は効果】の項に記載の用途以外には使用しないこと。
- 本品は、医療有資格者以外は使用しないこと。
- 包装が破損している場合、包装が開封されている場合又は、製品に破損などの異常が認められる場合は使用しないこと。
- 本品は、滅菌済みである為、包装を開封したら直ぐに使用すること。
- 使用後は、感染防止に配慮して安全な方法で廃棄すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

- 高温・多湿、直射日光及び水濡れを避けて室温で保管する。
- 使用期限は製造日より5年。
販売単位箱及び個別包装に表示
例、 ⇒ 使用期限〇〇〇〇年〇〇月を示す。
- 製造年月日はロットナンバーにより明示。

LOT 00 00 0000

製造年西暦下2桁 製造月 製造バッチ

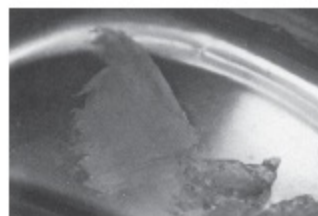
個別包装(1本入)/ビニール袋(PE)、防錆紙
販売単位箱(20本入):ボール紙(表面ビニール塗布加工)

フェザー探皮刀の使用法

採皮



第1図 皮膚を平に緊張させ、採皮しているところ。



第2図 採皮した皮膚片。生理食塩水中に浮き広がる。

- ① 第1図に示す様に助手に一方の皮膚を平に押えさせ、術者の左手で皮膚を押さえて緊張させる。
- ② 軽くDermatomeを保持し、刃を前後に動かしながら皮膚を削る。
- ③ 採皮部は下腹部が一番採皮しやすいが、平坦な所ならどこでもよい。
- ④ 厚さは第2図の如く紙のように薄く、生食水に入れると広がって浮く程度にとる。
- ⑤ 採皮部はインターチュール、或いはソフラチュールをのせ閉鎖。7~10日後、表皮化治癒。浸出物があまり多い時は上層のみ交換する。
- ⑥ ハガキ大の採皮でDermatomeを交換する。

Debridementと植皮



第3図 点状出血を見るまでDebridementを施行する。

- ① Dermotomeで採皮の場合と同じように壊死組織を削除する。点状出血を見る健康組織までを目標にする。(第3図)
- ② Debridement後は一万倍のアドレナリン液をガーゼにひたして圧迫止血する。
- ③ 皮膚片の表裏を間違えないように専用のヘラにひろげ、Debridementした創部にすき間なく移植する。
- ④ 皮膚片はうすいので縫合、テープ固定は出来ない。インターチュール或いはソフラチュールをのせ、ガーゼをあてて、バンソー膏固定する。ずれる恐れがある所や小児の場合は周囲の健康皮膚に糸をかけtie-over固定するとよい。
- ⑤ 術後5日目に開創し、ずれた所や生着しなかった所は2~3日後再び同様に植皮する。
- ⑥ 完全に表皮化したら2~3ヶ月間 steroid含有軟膏を外用し圧迫するとともに、色素沈着を防ぐために遮光する。

【製造販売業者及び製造業者等の氏名又は名称及び住所等】

<製造販売元>フェザー安全剃刀株式会社 美濃工場
岐阜県美濃市松森600-1 TEL.0575-33-1855

<製造元>フェザー安全剃刀株式会社 本社
大阪府大阪市北区大淀南3-3-70 TEL.06-6458-1631

<お問い合わせ先>フェザー安全剃刀株式会社 東京支店
メディカル商品部 TEL.03-3864-0917